

2022年度 事業実績

独立行政法人 国際協力機構
北海道センター



【目次】

- ・事業実績概要 1ページ
- ・研修事業実績 2～8ページ
- ・移住者・日系人支援（日系研修事業）／青年研修事業 9ページ
- ・草の根技術協力事業 10ページ
- ・開発教育支援事業 11～13ページ
- ・セミナー・イベント等 14～19ページ
- ・ボランティア事業 20ページ

2022年度 JICA北海道 事業実績概要

● 研修事業※

※草の根技術協力案件を除く。国別枠及び有償枠による課題別又は国別研修への参加者は「国別」として整理。国別（ ）は有償枠に該当するもので内数。長期（ ）は前年度からの継続人数で内数。

		課題別	国別	長期	日系	青年	合計
コース数	札幌	25	35	11	4	6	81
	帯広	26	6	18	1	2	53
小計		51	41	29	5	8	134

		課題別	国別	長期	日系	青年	合計
参加人数	札幌	185	112 (2)	51 (28)	8	60	416
	帯広	249	29 (0)	30 (17)	1	26	335
小計		434	141 (2)	81 (45)	9	86	751

● 草の根技術協力

		パートナー型	地域提案型	支援型	合計
プロジェクト数	札幌	2	1	5	8
	帯広	3	3	4	10
小計		5	4	9	18
専門家派遣人数	札幌	15	0	32	47
	帯広	16	17	15	48
小計		31	17	47	95
研修員受入人数	札幌	0	0	2	2
	帯広	0	11	10	21
小計		0	11	12	23

※地域提案型＝地域（経済）活性化特別枠を含む

● 開発教育支援事業

		出前講座	センター訪問	小・中高生国際 協力 プログラム	開発教育 指導者研修	教師国内研修※	エッセイ コンテスト	研修員 学校訪問(代替)
参加校等	札幌	60	83	0	0	6	25	10
	帯広	32	59	0			3	7
小計		92	142	0	0	6	28	17
参加者数	札幌	5,798	2,511	58	192	6	940	607
	帯広	1,720	1,842	13			128	247
小計		7,518	4,353	71	192	6	1,068	854

※教師海外研修は新型コロナウイルス感染症の影響により、教師国内研修として実施。

● ボランティア事業

形態	派遣国	派遣人数
青年海外協力隊	13	17
シニア海外協力隊	1	1
日系社会青年海外協力隊	1	2
日系社会シニア海外協力隊	0	0
合計	15	20

※新型コロナウイルス感染症の影響により、新規の派遣は限定的となった。

研修事業実績

● 社会基盤整備

開発途上国では都市開発、道路、上下水道等の社会基盤の整備が遅れているために、国の経済発展だけではなく、これらの施設、そして社会基盤のシステムが持続的に機能するために必要な人づくり、制度づくりも支援しています。JICA北海道では、国土交通省北海道開発局、北海道、札幌市等の地方自治体や大学及び協力団体等のノウハウを活用して、途上国の多くのニーズに対応した研修を行っています。また、寒冷地に位置する北海道の特徴を生かした研修なども行っています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
<札幌>						
1	道路維持管理（A）	課題別	8	カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタン	国土交通省北海道開発局、一般社団法人北海道開発技術センター	22.04.19-22.10.27 (来日+遠隔)
2	道路維持管理（B）	国別 (上乘せ)	5	ジンバブエ	札幌市建設局、一般社団法人北海道開発技術センター	22.05.26-22.10.27 (来日+遠隔)
3	道路維持管理（E）	課題別	6	ベナン、コンゴ共和国、マリ、コンゴ民主共和国	北海道庁建設部、公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター	22.06.03-22.07.15 (遠隔)
4	上水道施設技術総合：水道実務者向け実践編（B）	課題別	5	ブータン、インド、スリランカ、サモア	札幌市水道局、公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター	22.08.05-22.09.30 (遠隔)
5	上水道施設技術総合：水道実務者向け実践編（B）	国別 (上乘せ)	1	バングラデシュ	札幌市水道局、公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター	22.08.05-22.09.30 (遠隔)
<帯広>						
1	地熱掘削運営管理	課題別	4	ジブチ、エチオピア、インドネシア、タンザニア	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	23.03.15.-23.04.06
2	地熱掘削運営管理	国別 (上乘せ)	4	エチオピア、インドネシア	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	23.03.15.-23.04.06

● 環境

開発途上国では、人々が貧困のために自然環境を破壊し、そのことがますます貧困を深刻化していくという環境劣化と貧困の悪循環が起きています。また、人間の活動全般から発生する環境への負荷（悪影響）を減らし、持続可能な消費と生産が可能となる社会の仕組みづくりを行うことが重要な課題となっています。JICAは開発途上国の自然環境保全に取り組むとともに、水質汚染対策、廃棄物処理等の分野で支援を行っています。JICA北海道では、道内の森林管理のノウハウや地方自治体の都市環境対策の経験を活かした研修を積極的に行っています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
<札幌>						
1	森林リモートセンシング	課題別	5	ブラジル、コソボ、モルドバ	酪農学園大学	22.07.11-22.09.08 (遠隔)
2	森林リモートセンシング	国別 (上乘せ)	2	モルドバ、バングラデシュ	酪農学園大学	22.07.11-22.09.08 (遠隔)
3	固形廃棄物管理の基礎（A）	課題別	6	コスタリカ、ホンジュラス、ニカラガア、パナマ、ポリビア	一般財団法人一般財団法人日本国際協力センター	22.08.03-22.09-01 (遠隔)
4	固形廃棄物管理の基礎（A）	国別 (上乘せ)	3	ウルグアイ	一般財団法人一般財団法人日本国際協力センター	22.08.03-22.09-01 (遠隔)
5	鉱物資源の持続的な開発のための能力強化研修	課題別	5	フィリピン、カンボジア、ブータン、ジンバブエ、ルワンダ	一般財団法人石炭フロンティア機構	22.10.04-22.11.17
6	鉱物資源の持続的な開発のための能力強化研修	国別 (上乘せ)	1	モザンビーク	一般財団法人石炭フロンティア機構	22.10.04-22.11.17
7	森林等自然資源の持続可能な利用とバリューチェーン強化	課題別	2	スリランカ	酪農学園大学	22.10.31-22.12.02 (遠隔)
8	森林等自然資源の持続可能な利用とバリューチェーン強化	国別 (上乘せ)	1	バングラデシュ	酪農学園大学	22.10.31-22.12.02 (遠隔)
<帯広>						
1	保護地域協働管理を通じた生態系保全	課題別	9	コスタリカ、キューバ、ドミニカ共和国、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラガア、パラグアイ、ペルー	(一財) 自然環境研究センター	22.11.16-22.12.14

2	気候変動に対する順応的流域管理「災害リスク削減と生態系保全」	課題別	8	インド、エチオピア	アークコーポレーション株式会社	22.7.7-22.8.12 (遠隔)
3	自然環境行政官向けのエコツーリズム	課題別	7	アルメニア、ガボン、コンゴ民主共和国、ジョージア、スリランカ	釧路国際ウェットランドセンター	22.9.7-22.9.30 (遠隔)
3	自然環境行政官向けのエコツーリズム	課題別 (上乗せ)	1	アルバニア	釧路国際ウェットランドセンター	22.9.7-22.9.30 (遠隔)
4	生態系を活用した防災・減災(Eco-DRR)による、湿地と周辺地域の生態系保全、流域管理と地域開発	課題別	10	キューバ、エクアドル、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア、パナマ、パラグアイ	釧路国際ウェットランドセンター	23.1.24-23.2.14 (遠隔)
5	地域住民の参加による持続的な森林管理	課題別	8	マラウイ、コートジボワール、ジョージア、フィリピン、ウガンダ、バブアニューギニア、東ティモール、ソロモン	アジア航測株式会社	22.10.5-22.12.6
6	地域住民の参加による持続的な森林管理	国別 (上乗せ)	2	バングラデシュ、トルコ	アジア航測株式会社	22.10.5-22.12.6

● 保健医療

基本的な保健医療サービスが提供されれば簡単に予防・治療できる程度の病気やお産などで、今も開発途上国を中心に多くの尊い命が失われています。JICAは「感染症対策」「母子保健」「保健システム」などの分野において、開発途上国の保健・医療の充実に取り組んでいます。JICA北海道では、道内の僻地における公衆衛生の改善の経験等を活かして、母子保健や保健行政人材の育成等を行っています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
<札幌>						
1	アフリカ地域 地域保健担当のための保健行政	課題別	10	エチオピア、ケニア、リベリア、マラウイ、コートジボワール、ジブチ、ルワンダ、シエラレオネ、セネガル	旭川医科大学	22.07.20-22.09.02
1	アフリカ地域 地域保健担当のための保健行政	国別 (上乗せ)	2	リベリア	旭川医科大学	22.07.20-22.09.02
<帯広>						
1	母子栄養改善	課題別	13	カンボジア、ガーナ、グアテマラ、インドネシア、マダガスカル、モザンビーク、ルワンダ、セネガル、シエラレオネ	公益財団法人 ジョイセフ	22.8.4-22.11.18 (遠隔)
2	母子栄養改善	国別 (上乗せ)	2	ナイジェリア	公益財団法人 ジョイセフ	22.8.4-22.11.18 (遠隔)

● 地域振興・地域開発行政

急激に都市化が進む都市部と、開発から遅れた地方部の経済格差が開発途上国では拡大しています。こうした格差を是正するとともに、それぞれ固有の問題を解決するためにJICA北海道では、北海道で培われた地域総合開発の経験や地域リソースを活用した地域振興を目的として、開発途上国の行政官等を対象に、課題解決に向けた人材育成を支援しています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
<札幌>						
1	地域開発計画管理	課題別	5	バブアニューギニア、ドミニカ共和国、ナイジェリア、シエラレオネ	国土交通省北海道開発局、一般財団法人日本国際協力センター	22.10.19-22.11.22
2	参加型地域開発のための地方行政強化(A)	課題別	7	ドミニカ共和国、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア、コロンビア	公益財団法人はまなす財団	22.09.21-22.10.19
3	参加型地域開発のための地方行政強化(A)	国別 (上乗せ)	2	エルサルバドル	公益財団法人はまなす財団	22.09.21-22.10.19
4	参加型地域開発のための地方行政強化(A)	国別 (有償上乗せ)	2	ブラジル	公益財団法人はまなす財団	22.09.21-22.10.19
5	参加型地域開発のための地方行政強化(B)	課題別	3	ネパール、パレスチナ	一般財団法人北海道国際交流センター	22.10.20-22.11.11 (遠隔)
6	参加型地域開発のための地方行政強化(C)	課題別	11	ガーナ、ケニア、ウガンダ、タンザニア、シエラレオネ、南スーダン	一般財団法人北海道国際交流センター	22.07.08-22.08.02 (遠隔)
7	中米統合機構加盟国向け 道の駅による道路沿線地域開発	課題別	11	コスタリカ、ドミニカ共和国、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア	国土交通省北海道開発局、一般社団法人北海道開発技術センター	22.08.29-22.09.30
8	中米統合機構加盟国向け 道の駅による道路沿線地域開発	国別 (上乗せ)	2	パラグアイ	国土交通省北海道開発局、一般社団法人北海道開発技術センター	22.08.29-22.09.30

＜帯広＞						
1	公共事業における市民参加、合意形成及び住民移転	課題別	1	インドネシア	北海道大学、一般社団法人一般社団法人北海道開発技術センター	22. 8. 22-22. 9. 5 (遠隔)
2	公共事業における市民参加、合意形成及び住民移転	国別 (上乗せ)	4	バブアニューギニア、ルワンダ	北海道大学、一般社団法人一般社団法人北海道開発技術センター	22. 8. 22-22. 9. 5 (遠隔)

● 農林水産業等

農林水産業は、自国で必要とされる食糧を安定的かつ安全に供給する役割・期待を担っています。とりわけ、開発途上国においては主要産業として重要です。JICA北海道では、北海道における農村のリソースを活用した地域振興や持続可能な開発につながる資源の有効利用に関する北海道の経験・知見を活かして、人材育成を支援しています。また、農業分野におけるデジタル技術を活用した研修も行っていきます。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
＜札幌＞						
1	農民主体型用水管理システム (A)	課題別	6	フィリピン、ベトナム、バングラデシュ、ガーナ、ルワンダ	大雪土地改良区	22. 08. 05-22. 09. 24
2	農民主体型用水管理システム (A)	国別 (上乗せ)	4	ネパール、バングラデシュ	大雪土地改良区	22. 08. 05-22. 09. 24
3	農民主体型用水管理システム (B)	課題別	5	ハイチ、ブルンジ、モーリタニア、セネガル	一般財団法人日本国際協力センター	22. 08. 01-22. 09. 06
4	農民参加による農業農村開発 (B)	課題別	4	ブルンジ、マダガスカル、モーリタニア、ニジェール	公益財団法人北海道農業公社	22. 07. 20-22. 08. 10 (遠隔)
5	農民参加による農業農村開発 (B)	国別 (上乗せ)	1	マダガスカル	公益財団法人北海道農業公社	22. 07. 20-22. 08. 10 (遠隔)
6	アフリカ地域 小規模農家のためのアグリビジネス振興 (B)	課題別	13	コートジボワール、マダガスカル、ルワンダ、セネガル、トーゴ	一般社団法人滝川国際交流協会	22. 05. 19-22. 07. 08 (遠隔)
7	アフリカ地域 小規模農家のためのアグリビジネス振興 (B)	国別 (上乗せ)	3	ブルキナファソ、ハイチ	一般社団法人滝川国際交流協会	22. 05. 19-22. 07. 08 (遠隔)
8	水産資源の持続的利用とバリューチェーン開発	課題別	9	カンボジア、東ティモール、バブアニューギニア、エジプト、チュニジア、タンザニア、カメルーン	北海道大学	22. 08. 15-22. 09. 30
9	水産資源の持続的利用とバリューチェーン開発	国別 (上乗せ)	1	フィジー	北海道大学	22. 08. 15-22. 09. 30
10	中央アジア地域農民組織強化	課題別	9	カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタン	株式会社アジア地域連携研究所	22. 10. 03-22. 11. 03
＜帯広＞						
1	灌漑施設の維持・運営管理	課題別	5	ベリーズ、イラン、ネパール、ジンバブエ	北海道開発局帯広開発建設部	22. 8. 29-22. 9. 28 (遠隔)
2	灌漑施設の維持・運営管理	国別 (上乗せ)	7	バングラデシュ、ザンビア、ガーナ、ブータン、ネパール	北海道開発局帯広開発建設部	22. 8. 29-22. 9. 28 (遠隔)
3	バリューチェーン構築による地域アグリビジネス振興 (アジア地域) ~高付加価値な地場食品供給に向けて~	課題別	4	マレーシア、フィリピン、ベトナム	十勝インターナショナル協会	23. 1. 16-23. 2. 16 (遠隔)
4	バリューチェーン構築による地域アグリビジネス振興 (アジア地域) ~高付加価値な地場食品供給に向けて~	国別 (上乗せ)	5	ブータン、ネパール、フィリピン	十勝インターナショナル協会	23. 1. 16-23. 2. 16 (遠隔)
5	乳肉卵を中心とした畜産物の安全性確保と品質管理向上	課題別	3	ジョージア、コソボ、スリランカ、ウズベキスタン	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	23. 1. 17-23. 3. 2 (遠隔)
6	乳肉卵を中心とした畜産物の安全性確保と品質管理向上	国別 (上乗せ)	2	パキスタン、スリランカ	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	23. 1. 17-23. 3. 2 (遠隔)
7	バリューチェーンの整備を通じた農村振興 (畜産物の付加価値向上)	課題別	7	イラク、イラン、スリランカ	帯広畜産大学	22. 6. 27-22. 7. 5 22. 8. 22-22. 9. 14 (遠隔)
8	栄養改善を目的とした乳生産のための牛の飼養管理	課題別	2	エリトリア、アルジェリア	十勝インターナショナル協会	22. 10. 6-22. 11. 15 22. 2. 24 (遠隔)

9	栄養改善を目的とした乳生産のための牛の飼養管理	国別 (上乗せ)	2	パキスタン、スリランカ	十勝インターナショナル協会	22. 10. 6-22. 11. 15 22. 2. 24 (遠隔)
10	アラブ圏市場志向型農業振興 (行政官)	課題別	13	エジプト、パレスチナ、モロッコ	十勝インターナショナル協会	23. 2. 19-23. 3. 9 (遠隔)
11	アラブ圏市場志向型農業振興 (行政官)	国別 (上乗せ)	2	スーダン	十勝インターナショナル協会	23. 2. 19-23. 3. 9 (遠隔)
12	(ケニア) 食品科学	国別	1	ケニア	国立大学法人帯広畜産大学	22. 10. 27-23. 4. 20
13	(ケニア) 食品栄養生化学	国別	1	ケニア	国立大学法人帯広畜産大学	23. 1. 18-23. 7. 27
14	(ナミビア) 北部ナミビア小規模農家生計向上プロジェクト	国別	11	ナミビア	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	22. 11. 24-22. 12. 14
15	アジア地域 市場志向型農業振興 (行政官) B	課題別	8	カンボジア、フィリピン、インドネシア	十勝インターナショナル協会	22. 07. 25-22. 08. 12. (遠隔)
16	アジア地域 市場志向型農業振興 (行政官) B	国別 (上乗せ)	8	ネパール、フィリピン、タジキスタン	十勝インターナショナル協会	22. 07. 25-22. 08. 12. (遠隔)
17	農業・農村DX/スマートフードチェーン共創に向けた産官学人材育成 (B)	課題別	6	アルゼンチン、ボリビア、グアテマラ、ペルー	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	22. 10. 25. -22. 11. 17.
18	農業・農村DX/スマートフードチェーン共創に向けた産官学人材育成 (B)	国別 (上乗せ)	4	エクアドル、エルサルバドル	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	22. 10. 25. -22. 11. 17.
19	人獣共通感染症対策(寄生虫病含む) 研究者育成	課題別	8	コンゴ民、ウガンダ、ケニア、パラグアイ	国立大学法人帯広畜産大学	22. 11. 7. -23. 4. 26. (来日+遠隔)
20	人獣共通感染症対策(寄生虫病含む) 研究者育成	国別	6	エチオピア	国立大学法人帯広畜産大学	22. 11. 7. -23. 4. 26. (来日+遠隔) □
21	アジア地域 市場志向型農業振興 (行政官) A	課題別	4	パキスタン、スリランカ	十勝インターナショナル協会	23. 08. 22. -23. 09. 09. (遠隔)
22	アジア地域 市場志向型農業振興 (行政官) A	国別 (上乗せ)	15	インド、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、スリランカ	十勝インターナショナル協会	23. 08. 22. -23. 09. 09. (遠隔)
23	市場志向型農業とバリューチェーンモデル導入による地域アグリビジネス振興	国別	12	ブータン	十勝インターナショナル協会	22. 09. 26-23. 10. 21 (遠隔)
24	戦略的マネジメント・マーケティングによる持続的地場産業振興 (A)	課題別	11	ブータン、ケニア、キルギス、イラク、フィリピン、レバノン、モルティブ、タンザニア	インサイトマネジメント株式会社	22. 5. 24. -22. 6. 10. (遠隔)
25	戦略的マネジメント・マーケティングによる持続的地場産業振興 (B)	課題別	7	エチオピア、マラウイ、コソボ、サモア、トンガ、北マケドニア	インサイトマネジメント株式会社	22. 9. 13. -22. 9. 30. (遠隔)
26	持続的農業生産のための土壌診断と土壌改良技術	課題別	5	リベリア、マラウイ、アルジェリア、東ティモール	アースカフェ	22. 9. 28-22. 11. 18 (遠隔)

● 教育

JICAは、世界中のすべての人々が教育を受けられるという目標に向かって、開発途上国における基礎教育の普及に取り組んでいます。JICA北海道でも、北海道の教育関係者との意見交換や実際の学校現場への訪問等、北海道の教育行政や学校教育の知恵と経験を活かした研修を実施しています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
<札幌>						
1	児童の学び改善のための初等算数教授法	課題別	11	モロッコ、ベナン、ジブチ、マダガスカル、マリ、ニジェール、セネガル	北海道教育大学	23.02.01-23.03.02
<帯広>						
1	小学校理科教育の質的向上～「教えと学び」の現場教育～	課題別	8	カンボジア、エチオピア、ラオス、パキスタン、パレスチナ、パプアニューギニア	北海道教育大学釧路校	22.10.27-22.12.15
2	子どもの学びを保障する」へき地教育の振興—SDGsの達成に向けて	課題別	7	カンボジア、ネパール、パキスタン、パレスチナ、アゼルバイジャン、ミクロネシア	直営	23.2.20-23.3.6 (遠隔)

● 民間セクター開発

開発途上国の開発のためには、民間セクターの開発が不可欠です。民間セクター開発とは、開発途上国の民間企業の活力を利用して、国の経済発展をめざす支援です。JICAは「貿易・投資」「観光」「中小企業振興と産業技術の振興」「裾野産業の育成」という4分野で、開発途上国の民間企業の活性化を支援しています。JICA北海道では特に道内で輝く中小企業等の経営ノウハウを活かして、主に市場経済への移行経済下にある諸国を対象とした研修を積極的に行っています。また、日本側と途上国とがwin-winの関係となる研修も実施しています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
<札幌>						
1	産業クラスター・アプローチによる産業振興	課題別	10	エルサルバドル、パレスチナ、エジプト、ナイジェリア、ザンビア、ウズベキスタン	公益財団法人北海道科学技術総合振興センター	22.09.07-22.11.02 (遠隔)
2	持続可能な観光資源管理・開発(自然資源)	課題別	12	ブータン、モルディブ、ボツワナ、ケニア、レソト、ボスニア・ヘルツェゴビナ、キルギス、タジキスタン	公益財団法人はまなす財団	22.08.19-22.09.22 23.02.06-23.02.22 (来日+遠隔)
<帯広>						
1	動物を原料とした食品の品質管理強化を通じた地域産業開発	国別	10	マレーシア	帯広商工会議所	23.01.25.-23.02.09
2	CIS諸国、モンゴル向けアグリビジネス経営管理	課題別	14	アゼルバイジャン、アルメニア、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、モンゴル、ウズベキスタン	インサイトマネジメント株式会社	23.1.18.-23.2.1

● 水資源・防災

世界では急激な人口増加や経済発展などにより、水不足や水質汚濁、水災害など、水資源にかかわる問題がますます深刻化かつ多様化しています。JICAでは、利水、治水、水環境などの総合的な観点から、途上国の水資源問題の解決に取り組んでいます。また、途上国の人々の暮らしを直撃し貧困を深刻化させる災害に対しても、災害リスクを軽減するための支援を行っています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
<札幌>						
1	中南米地域 火山防災能力強化 ※2021年度分	課題別	4	グアテマラ、ニカラグア	NPO法人火山防災推進機構	22.09.22-22.10.14 22.10.17-22.11.10 (来日+遠隔)
2	中南米地域 火山防災能力強化	課題別	7	コスタリカ、グアテマラ、ニカラグア、チリ、エクアドル、ペルー	NPO法人火山防災推進機構	22.09.22-22.10.14 22.10.17-22.11.10 (来日+遠隔)
3	中南米地域 火山防災能力強化	国別(上乘せ)	1	メキシコ	NPO法人火山防災推進機構	22.09.22-22.10.14 22.10.17-22.11.10 (来日+遠隔)
4	アフリカ地域 村落飲料水管理(A)	課題別	11	ブルキナファソ、コートジボワール、マリ、モーリタニア、セネガル、トーゴ	株式会社アースアンドヒューマンコーポレーション	23.03.09-23.03.24 (遠隔)

● 社会保障

開発途上国では、経済発展に伴い労働災害や職業病が増加している一方で、労働安全衛生、労働基準などの法制度や実施・監督体制の整備が不十分なために、労働に起因する被害を受けても、十分な補償が得られず、貧困状態に陥るリスクを抱えた労働者が大勢います。失業の増加や若年層の雇用の問題は、社会の安定にとって大きなリスクとなる可能性があります。JICA北海道では、北海道の事例を活用し、障害者自身が地域の発展の担い手となり、地域社会に根ざしたりハビリテーション、インクルーシブな開発を実践するための基礎を理解し、実践の手法を学ぶための導入的研修を通じ、参加者が活動する地域で、関連する機関や地域のリソースと協力した取り組みを支援しています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
----	------	----	----	-----	--------	------

＜帯広＞						
1	スポーツを通じた障害者の社会参加の促進 (B)	課題別	5	アルメニア、カザフスタン、キルギス、トルクメニスタン、ウズベキスタン	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	23. 1. 24-23. 2. 28 (遠隔)
2	スポーツを通じた障がい者の社会参加の促進 (B) (2020/2021後期)	課題別	14	アゼルバイジャン、ジョージア、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタン	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	22. 3. 14-22. 4. 26 (遠隔)

● 長期研修

開発途上国の発展には高度な専門知識を持った人材の育成が各分野で必要とされています。特に産業を発展させる工学、地球規模の課題である環境管理等の高度人材の育成は、社会、経済、環境のバランスを取りつつ発展する持続可能な開発目標の達成には不可欠です。長期研修は開発途上国の高度人材が本邦の大学での学位取得を支援することで、対象国の人材育成を行うプログラムです。また、プログラムを通じ、日本の大学、産業界と途上国の高度人材との連携を促進します。

※研修員の来日時期が個別で異なる長期研修については、受入期間の記載を省略。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	受入期間
＜札幌＞						
1	資源分野の人材育成プログラム (資源の絆)	長期	16	フィジー、ザンビア、インドネシア、エチオピア、ジンバブエ、モザンビーク、ボツワナ、ミャンマー、ケニア、マダガスカル、マラウイ	北海道大学	
2	アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ (ABEイニシアティブ)	長期	5	ナイジェリア、ザンビア、ガーナ、エジプト、モザンビーク	北海道大学	
3	イノベティブ・アジア	長期	1	タイ	北海道大学	
4	健康危機対応能力強化に向けた感染症対策グローバルリーダー育成	長期	6	コンゴ民主共和国、ザンビア、ガーナ、ナイジェリア、ベトナム	北海道大学	
5	インド工科大学ハイデラバード校日印産学研究ネットワーク構築支援プロジェクト (FRIENDSHIP)	長期	6	インド	北海道大学	
6	SDGsグローバルリーダー・コース	長期	6	ガンビア、ベナン、ザンビア、キリバス、ナイジェリア、フィリピン	北海道大学	
7	食料安全保障のための農業ネットワーク (Agri-Net)	長期	5	カンボジア、ナイジェリア、コンゴ民主共和国、モンゴル、ザンビア	北海道大学	
8	道路アセットマネジメント技術の中核人材育成	長期	1	ザンビア	北海道大学	21. 04. 01-24. 09. 30
9	きれいな街のための中核人材育成コース	長期	1	マダガスカル	北海道大学	22. 09. 14-25. 09. 30
10	ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ	長期	1	バングラデシュ	北海道大学	22. 10. 10-26. 03. 31
11	タイ国における自然災害リスクを考慮に入れたインフラマネジメント技術の開発	長期	3	タイ	北海道大学	
＜帯広＞						
1	(連携方式) ABE2020・第7バッチ・帯広畜産大学畜産学研究科・修士	長期	3	ガーナ、ケニア、モザンビーク	帯広畜産大学	
2	(連携方式) SDGsグローバルリーダー・コース2020 (アフリカ)・帯広畜産大学畜産学研究科・博士	長期	2	マラウイ、ジンバブエ	帯広畜産大学	
3	(連携方式) SDGsグローバルリーダー・コース2020 (大洋州)・帯広畜産大学畜産学研究科・修士	長期	1	トンガ	帯広畜産大学	21. 4. 1-23. 1. 17
4	(連携方式) ABEイニシアティブ (2021~2023年度)・2021年度・第8バッチ・帯広畜産大学畜産学研究科 (修士課程)	長期	1	モザンビーク	帯広畜産大学	21. 10. 1-24. 9. 30
5	(連携方式) ABEイニシアティブ (2021~2023年度)・2022年度・第9バッチ・帯広畜産大学畜産学研究科・修士	長期	3	ケニア、モザンビーク、ルワンダ	帯広畜産大学	

6	(連携方式) SDGsグローバルリーダー (2021~2023年度) (アフリカ)・2022年度・帯広畜産大学畜産学研究所・博士	長期	2	ケニア、マラウイ	帯広畜産大学	
7	(連携方式) 食糧安全保障のための農学ネットワーク (Agri-Net) 2020・帯広畜産大学畜産学研究所・博士	長期	2	パラグアイ、ラオス	帯広畜産大学	
8	(連携方式) 食糧安全保障のための農学ネットワーク (Agri-Net) 2020・帯広畜産大学畜産学研究所・修士 (2021春)	長期	1	インドネシア	帯広畜産大学	
9	(連携方式) 食料安全保障のための農学ネットワーク (Agri-Net) (2021~2023年度)・2021年度・帯広畜産大学畜産学研究所 (修士課程)	長期	1	パラグアイ	帯広畜産大学	22. 2. 25-23. 9. 30 (遠隔+来日)
10	(連携方式) 食料安全保障のための農学ネットワーク (Agri-Net) (2021~2024年度)・2021年度・帯広畜産大学 (博士課程)	長期	1	ミャンマー	帯広畜産大学	21. 11. 26-24. 9. 30 (遠隔+来日)
11	(連携方式) 食料安全保障のための農学ネットワーク (Agri-Net) (2021~2023年度)・2021年度・帯広畜産大学畜産学研究所 (修士課程)	長期	1	南アフリカ	帯広畜産大学	22. 4. 21-24. 3. 31 (遠隔+来日)
12	(連携方式) 食料安全保障のための農学ネットワーク (Agri-Net) (2022~2026年度)・2022年度・帯広畜産大学 (博士課程) □	長期	2	キューバ、ルワンダ	帯広畜産大学	
13	(連携方式) 食料安全保障のための農学ネットワーク (Agri-Net) (2022~2025年度)・2022年度・帯広畜産大学 (修士課程) □	長期	2	ラオス、パラグアイ	帯広畜産大学	
14	(連携方式) 道路アセットマネジメント技術の中核人材育成 (2021~2023年度)・2021年度・北見工業大学工学研究所・博士	長期	1	エチオピア	北見工業大学	22. 4. 1-25. 3. 31 (遠隔+来日)
15	(連携方式) 道路アセットマネジメント技術の中核人材育成 (2021~2023年度)・2021年度・北見工業大学工学研究所・修士	長期	2	インドネシア、モンゴル	北見工業大学	22. 4. 1-24. 3. 31 (遠隔+来日)
16	(連携方式) 道路アセットマネジメント技術の中核人材育成 (2021~2023年度)・2022年度・北見工業大学工学研究所・博士	長期	1	モンゴル	北見工業大学	22. 3. 29-26. 3. 31
17	(連携方式) 道路アセットマネジメント技術の中核人材育成 (2021~2023年度)・2022年度・北見工業大学工学研究所・修士	長期	3	エチオピア、ケニア、ネパール	北見工業大学	22. 3. 29-25. 9. 30
18	(連携方式) SDGsグローバルリーダー (2021~2023年度) (アフリカ)・2022年度・北見工業大学工学研究所・博士	長期	1	ニジェール	北見工業大学	21. 10. 5-26. 3. 31

移住者・日系人支援（日系研修事業）

現在、北米・中南米を中心に全世界で290万人を超える移住者・日系人が生活しています。彼らは政治、経済、教育、文化など、多分野で活躍し、移住先国の発展に寄与するとともに、日本との「懸け橋」となって二国間の関係緊密化に重要な役割を果たしています。JICAは、中南米などへ渡航した移住者に対し、移住先国の社会での定着と生活の安定を図るための支援を実施してきましたが、時の流れとともに、日系社会の成熟や世代交代といった変化が生じてきました。現在は、移住者・日系人が抱える新たな課題に対応するため、JICAでは移住者子弟の人材育成などの支援を行っています。JICA北海道でも、大学や専門学校、民間企業などでの研修を行いました。

※長期研修を除く研修実績は全て遠隔研修実施分のみ記載

No	コース名	人数	参加国	研修実施機関	研修期間
<札幌>					
1	個別長期：ドローン・GIS・GPS・リモートセンシング技術による農地・森林評価及び野生動物生息地の管理手法	4	ポリビア、ブラジル、パラグアイ	酪農学園大学	22.07.01-23.03.01 (遠隔+来日)
2	個別長期：ドローン・リモートセンシング技術による農地、森林、環境資源管理とモニタリング	1	ペルー	酪農学園大学	23.01.10-23.03.01
3	個別長期：食品科学と栄養管理	1	ブラジル	酪農学園大学	22.10.04-22.12.08
4	個別短期：食品科学と栄養管理	2	ブラジル、アルゼンチン	酪農学園大学	22.11.09-22.12.08
<帯広>					
1	(日系)地域包括医療（看護と介護）	1	アルゼンチン	北見看護大	22.10.5-22.11.9

青年研修事業

開発途上国の青年が、それぞれの国で必要とされている分野の基礎的な研修を通じ、将来の国づくりを担う人材となってくれることを目的とする事業で、地方自治体、地域のNGO、その他国際協力関連団体との連携で実施されています。地域の市民が、国際協力に参加、相互理解を深める重要な機会にもなっています。

No	国/地域	分野	人数	実施団体	研修期間
<札幌>					
1	フィリピン	農業・農村開発（農作業体験）	16	公益財団法人北海道科学技術総合振興センター	22.07.19-22.08.05 (遠隔)
2	マーシャル、コモロ、セーシェル、南アフリカ、ガボン、モーリシャス、ジャマイカ	環境管理（海洋ゴミ対策）	10	酪農学園大学	22.08.30-22.09.29
3	バブアニューギニア、ボツワナ、ルワンダ、バヌアツ	地元資源を活用した産業振興（特産品等を用いた産業振興）	7	一般社団法人北海道総合研究調査会	22.09.27-22.10.21
4	バングラデシュ	地方行政・地域開発	7	一般財団法人日本国際協力センター	23.01.11-23.01.27
5	パキスタン	ICT推進によるDX実践	8	株式会社北海道アルバイト情報社	23.01.19-23.02.08
6	フィリピン	高齢者支援・介護（介護人材育成）	12	公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター	23.01.25-23.02.15
<帯広>					
1	カンボジア	農業・農村開発（農業の6次産業化）A	17	十勝インターナショナル協会	22.11.30-22.12.16 23.2.1-23.2.2
2	ラオス	中小企業振興(A)	9	とちか機構	22.12.6-22.12.20

草の根技術協力事業

草の根技術協力事業は、日本のNGO、大学、地方自治体等がこれまで培ってきた経験や技術を活かして企画した、開発途上国の人々の生活改善・生計向上に直接役立つ分野の草の根レベルの協力活動をJICAが支援し、共同で実施する事業です。

● パートナー型

No	案件名	対象国	協力対象機関	提案団体	研修員受入実績	専門家派遣実績
					人数	人数
<札幌>						
1	玉ねぎの品種改良による新ブランドの確立とフードバリューチェーンの構築	モンゴル	トゥブ県ジャルガラント村	一般社団法人道川国際交流協会	0	6
2	日系人社会が牽引する持続可能な循環型農業システム確立のための支援	ボリビア	CAICU (コロナ沖繩農政総合協同組合)、CAISY (サンファン農政総合協同組合)、CIAI (サンタクルス熱帯農業研究センター)、ANAP0 (搾油生産物・小麦生産者協会)、ガブリエル・レネ・モレノ国立自治大学	国立大学法人北海道大学	0	9
<帯広>						
1	ウガンダ国マダニ媒介感染症制御による畜産農家支援プログラム	ウガンダ	マケレレ大学獣医学部	国立大学法人 北海道国立大学機構 帯広畜産大学	0	5
2	パラグアイ酪農の持続可能な発展をめざすネットワークを活用した酪農家支援体制構築プロジェクト	パラグアイ	パラグアイ生産者組合連盟 (FECOPROD)	国立大学法人 北海道国立大学機構 帯広畜産大学	0	5
3	キルギス国キルギス国立農業大学における土壌・作物分析技術人材育成プロジェクト (草の根パートナー型)	キルギス	キルギス国立農業大学 (KNAU)	バイオマスリサーチ株式会社	0	6

● 地域提案型 (地域 (経済) 活性化特別枠を含む)

No	案件名	対象国	協力対象機関	提案団体	研修員受入実績	専門家派遣実績
					人数	人数
<札幌>						
1	ボカラ市給配水管理業務の体系化を目指した技術協力事業	ネパール	ネパール水道公社、Love Green Nepal	札幌市水道局	0	0
<帯広>						
1	Kedah Food Valley 推進による地域活性化プロジェクト (地域活性化特別枠)	マレーシア	Kedah州政府、ケダ開発公社 (PKNK)	帯広商工会議所	0	6
2	キルギス国地域におけるフードバリューチェーンを活用した実践的な農業教育プロジェクト (地域活性化特別枠)	キルギス	キルギス国立農業大学付属農業技術カレッジ	株式会社 CheerS	5	5
3	モンゴル国路床の凍土に着目した首都ウランバートル市内における道路の質的向上に向けたプロジェクト (地域活性化特別枠)	モンゴル	ウランバートル市道路開発局 (UBRDD)、モンゴル地理学・知生態学研究所 (IGG)	北見国際技術協力推進会議	6	6

● 支援型

No	案件名	対象国	協力対象機関	提案団体	研修員受入実績	専門家派遣実績
					人数	人数
<札幌>						
1	口腔衛生指導専門医による地域住民の健康増進事業	バングラデシュ	BKS (ボヨシコラヤンシヨミッティ)	特定非営利活動法人 ジョロナ	0	8
2	あんまマッサージ指圧訓練コースの設立・運営による視覚障害者の雇用促進事業	スリランカ	シードウワ職業訓練校、トゥッサーレトーキングハンズ	特定非営利活動法人 アブカス	0	0
3	持続可能な生態系サービス向上に向けたESD活動基盤づくり	マレーシア	KOPEL (エコツーリズム協同組合)	特定非営利活動法人 EnVision環境保全事務所	2	4
4	サモアにおけるラン科植物の栽培技術普及と新産業開発提案事業	サモア	STEC (サモア国営信託農場法人)	一般社団法人 The Earth Cafe	0	7
5	女性障がい者の自立支援と広報技術向上による事業強化プロジェクト	カンボジア	CHA (カンボジア・ハンドクラフト協会)	特定非営利活動法人 「飛んでけ! 車いす」の会	0	13
<帯広>						
1	モンゴルにおける牧草飼料生産にかかる農作業負担軽減促進事業	モンゴル	モンゴル科学技術大学	十勝農業機械評議会	10	6
2	ジョージア国デイスヴェリ村女性酪農協同組合における酪農技術向上プロジェクト	ジョージア	ジョージア酪農協会、デイスヴェリ村女性酪農協同組合	一般社団法人 とかち地域活性化支援機構	0	2
3	ベトナム国ラムドン省における小規模農家による市場ニーズに対応した販路多角化プロジェクト (草の根協力支援型)	ベトナム	クウォックヴェイト経済技術専門学校	一般社団法人 北海道ホープランドベトナム交流協議会	0	1
4	モンゴル国利用者目線バス運営ノウハウとAI・OT技術提供によるバス事業改善プロジェクト	モンゴル	ウランバートル市 (公共交通局、IT局)	一般社団法人 交通環境まちづくりセンター	0	6

※新型コロナウイルス感染症拡大により、一部の渡航計画に影響が及んだ。

開発教育支援事業

開発途上国の現状を知り、「環境」「食糧」「資源」など私たちの日常生活に身近なものを通じて途上国と日本とのつながりに気づき、途上国の抱える諸問題や地球規模の課題について考える機会を学生や生徒に提供するために、JICA北海道はJICA事業関係者の協力を得てさまざまな取り組みを行っています。

● 出前講座/センター訪問

JICA職員や青年海外協力隊OB/OG等が小中学校、高校、大学、その他の団体等を訪問し、国際協力の現場で学んだこと、開発途上国での生活を通じて学んだこと等を紹介しました。また、多くの学校・団体等にJICA北海道を訪問いただき（センター訪問）、国際理解教育のためのワークショップ等を行いました。

区分	事業	参加人数	学校及び団体名 *順不同
<札幌>			
小学校	出前講座	10校 657名	石狩市立緑苑台小学校、旭川市立緑が丘小学校、江別市立江別第二小学校、当別町立西当別小学校、旭川市立近文第一小学校、江別市大麻東小学校、新冠町立新冠小学校、札幌市立上白石小学校、当別町立とうべつ学園、旭川市立神楽岡小学校
	センター訪問	2校 99名	千歳市立向陽台小学校、江別市立野幌若葉小学校
中学校	出前講座	17校 2285名	石狩市立花川北中学校、石狩市立花川中学校、旭川市立広陵中学校、札幌市立平岡中央中学校、江別市立大森中学校、旭川市立広陵中学校、登別市立緑陽中学校、星槎もみじ中学校、登別市立西陵中学校、登別市立明野中学校、札幌市立太平中学校、登別市立登別中学校、札幌市立啓明中学校、千歳市立青葉中学校、千歳市立北斗中学校、八雲町立落部中学校、旭川市立神楽岡中学校
	センター訪問	34校 794名	北広島市立西部中学校、余市町立西中学校、美幌市立東中学校、三笠市立三笠中学校、石狩市立石狩中学校、札幌市立柏丘中学校、共和町立共和中学校、江別市立江別第三中学校、石狩市立花川中学校、北星学園女子中等高等学校、江別市立野幌中学校、江別市立第一中学校、恵庭市立恵北中学校、当別町立西当別中学校、苫小牧市立明野中学校、札幌日本大学中学校、札幌市立北都中学校、北海道教育大学附属札幌中学校、札幌市立白石中学校、栗山町立栗山中学校、当別町立とうべつ学園、札幌市立米里中学校、札幌市立東白石中学校、札幌市立幌東中学校、札幌市立日章中学校
高校	出前講座	12校 1451名	北海道旭川東高等学校、市立札幌清田高等学校、札幌静修高等学校、青森山田高等学校通信課程札幌、市立札幌大通高等学校、北海道札幌丘珠高等学校、北海道千歳高等学校、北海道知内高校ボランティア部、高文連石狩支部ボランティア研究大会、北海道釧路高等学校、北海道八雲高等学校、北海道札幌北高等学校
	センター訪問	17校 723名	第一学院高等学校札幌キャンパス、小樽双葉高等学校、エコール札幌、クラーク記念国際高等学校札幌大通キャンパス、札幌静修高等学校 ユニバーサル科、市立札幌清田高等学校、北海道遠軽高等学校、北海道苫小牧総合経済高等学校、市立札幌藻岩高等学校、藤女子高等学校、北海道千歳高等学校、北海道札幌国際情報高等学校、北海道高等学校教育研究会石狩支部家庭部会、北海道札幌手稲高等学校、共愛学園高等学校、札幌新陽高等学校、北海道道南高等学校
大学/専門学校	出前講座	7校 616名	新十津川町ふるさと学園大学、札幌国際大学、岩見沢市立高等看護学院、北海道教育大学函館校、北海道教育大学旭川校、札幌大学、北海道立旭川高等看護学院
	センター訪問	6校 102名	王子総合病院付属看護専門学校、小樽商科大学、中央大学、北海道大学大学院医学研究院、JICAインターン生1名、札幌保健医療大学
特殊学校	出前講座	1校 53名	市立札幌みなみの社高等支援学校
	センター訪問	16校 283名	千歳市立北進中学校、市立札幌山の手支援学校中部、札幌市立厚別南中学校（特別支援学級）、市立札幌豊成支援学校、札幌市立真駒内中学校、札幌市立手稲東中学校（特別支援学級）、北海道真駒内養護学校中等部、札幌市立栄南中学校特別支援学級、札幌市立平岡小学校（特別支援学級）、北海道星置養護学校ほしみ高等学校、札幌市立元町中学校特別支援級、北海道拓北養護学校、札幌市立白石中学校特別支援学級、北海道札幌聖学校、札幌市立白石中学校特別支援級、札幌市立手稲西中学校特別支援学級3組
その他団体	出前講座	17件 736名	中央公民館百寿大学、嵐山中央会館（江丹別公民館百寿大学）、東広公民館百寿大学、登別町教育委員会（愛別天神クラブ事業）、旭川市中央図書館、北海道立向陽学院、永山公民館百寿大学、一般社団法人北海道建築士会、石狩教育研究協議会国際理解部会、由仁町教育委員会、旭川市教育研究会国際理解教育研究部、北海道農政部の安全推進局、防衛省陸上総隊司令部国際協力課、株式会社オーティス、旭川シニア大学、旭川西ロータリークラブ
	センター訪問	99件 510名	コープ、レバンガ北海道、独立行政法人都市再生機構、教頭会、校別地区図書館部会、そらいろLinks、東武トップアース、共愛学園高等学校、家庭科部会、北海道国際理解教育研究協議会、教育支援センター白石、一般社団法人相夢社、北海道国際理解教育研究協議会、札幌市教育委員会、札幌大谷第二幼稚園PTA、アスク白石保育園、通所支援事業ほほまみ、児童発達支援・放課後デイサービス、児童発達支援・放課後等デイサービスきずな、冬の高校生国際協力体験プログラム1件、世界ふれあいひろば2件、JICA職員向け7件、JICAインターン3件、JICA海外協力隊4件、ミニツアー25件、職場体験14件
<帯広>			
小学校	出前講座	5校 280名	帯広市立福田小学校、帯広市立啓北小学校、滝上町立濁川小学校、遠軽町立遠軽小学校、釧路市立鶴野小学校
	センター訪問	4件 165名	東川町立東川小学校、幕別町立幕別小学校、鹿追町立鹿追小学校、音更町こども体験隊
中学校	出前講座	7校 333名	北見市立瑞野中学校、北見市立相内中学校、猿払村立拓心中学校、別海町立春別中学校、別海町立上春別中学校、清水町立清水中学校、新得町立新得中学校
	センター訪問	17校 1462名	北見市立南中学校、北広島市立東部中学校、美瑛町立美馬牛中学校、えりも町立えりも中学校、帯広市立大空中学校、翔陽中学校、南町中学校、川西中学校、清川中学校、西陵中学校、緑園中学校、帯広第七中学校、帯広第一中学校、帯広第四中学校、帯広第八中学校、帯広第二中学校、帯広第五中学校
高校	出前講座	9校 550名	白樺学園高等学校、北海道池田高等学校、北海道広尾高等学校、幕別清陵高等学校、帯広三条高校、大樹高等学校、留辺蘆高等学校、網走桂陽高校、遠軽高等学校
	センター訪問	2校 149名	白樺学園高等学校、鹿追高等学校
大学/短期大学	出前講座	1校 77名	帯広畜産大学
	センター訪問	11名	帯広大谷短期大学社会福祉科
特殊学校	センター訪問	1校 18名	自由学校大樹
その他団体	出前講座	10件 480名	大空町女満別英会話サークル、るべし生涯学習会、北見ことぶき大学（社会人教育）、国際協力・国際交流研究会、オホーツク国際理解教育研究会「世界を語る会」、帯広市民大学講座、芽室柏樹大学、帯広東ロータリークラブ、大谷短期大学オープンカレッジ、美幌町教育委員会、網走市教育委員会
	センター訪問	2件 37名	幕別町100年記念ホール、鹿追町農業/産業研修生

● JICA研修員学校訪問

各校で取り組みが盛んになってきている国際理解教育を支援する事業の一環として、JICA北海道では、開発途上国から日本の技術を学びにきた研修員、道内に在住する外国人が学校訪問を行い、地域の児童・生徒と交流するプログラムを行いました。交流を通して、外国や異文化に関する児童・生徒の興味・関心を引き出し、国際理解から国際協力への基礎を築き、研修員や道内に在住する外国人が、日本人とのコミュニケーションを図ることで、日本についての理解を深める機会としています。

No	訪問校	参加人数	協力団体名
<札幌>			

1	室蘭市立天神小学校	69名	ベトナム人留学生・社会人
2	江別市立中央小学校	85名	日本語学校学生（南アフリカ人、台湾人）主婦（ミャンマー人）
3	石狩市立緑苑台小学校	55名	長期研修員、留学生（カンボジア人、インド人）
4	北海道登別明日中等教育学校	74名	カンボジア人留学生、北海道フィリピン協会、ミャンマー人
5	札幌市立上白石小学校	131名	北海道アフリカ会
6	札幌北斗高等学校	38名	日本語学校学生（南アフリカ人、台湾人）主婦（ミャンマー人）
7	千歳市立みどり台小学校	90名	留学生（カンボジア人、ベトナム人）、HIECC研修員
8	北海道苫小牧総合経済高等学校	28名	ベトナム人留学生・社会人
9	札幌市立信濃小学校	21名	北海道フィリピン協会
10	北海道当別高等学校	16名	北海道アフリカ会

No	訪問校	参加人数	研修コース名
<帯広>			
1	北海道網走桂陽高等学校	14名	（連携方式）「道路アセットマネジメント技術の中核人材育成（2021～2023年度）2021年度・北見工業大学工学研究科・修士/博士
2	北海道興部高等学校	15名	（日系）個別短期：地域包括医療（看護と介護）
3	陸別町立陸別小学校	58名	地域住民の参加による持続的な森林管理
4	広尾町立広尾中学校	46名	
5	音更町立木野東小学校	91名	（エチオピア国別）「人獣共通感染症対策（寄生虫病含む）研究者育成」（課題別）「人獣共通感染症対策（寄生虫病含む）研究者育成」
6	北海道白糠高等学校	6名	地熱掘削運営管理
7	更別農業高等学校 泉心寮 料理交流会	17名	食品科学研修/食品栄養科学研修（ケニア） 帯広畜産大学長期研修員

● 開発教育/国際理解教育指導者研修

教育現場での開発教育/国際理解教育の担い手である教員の方々に対象に、開発をめぐる様々な問題を理解し、学校現場での具体的な展開方法を考えていただくことを目的とした「開発教育/国際理解教育指導者研修」を対面・オンラインで実施しました。

項目	参加人数	実施日
<札幌>		
2022年度JICA北海道国際理解セミナー「異文化体験ワークショップ『バーンガ』」	29名	2022/5/14
2022年度 JICA北海道 国際理解教育セミナー「多様性を考えるセミナー～気づこう・学ぼう・じぶんごとに～」	46名	2022/7/2・7/16・7/30
国際理解教育 実践共有セミナー 第19回：人種・人権×SDGs ～誰も取り残さない教室へ～	45名	2023/2/10
<帯広>		
SDGs×道東地域 繋がる学びを地域とともに～探求的な学びを通して～ 帯広市・北見市同時開催	19名	2022/7/26
SDGs教材を体験！～気軽に語って、楽しく学ぼう～	17名	2022/12/26

● 教育庁・教育委員会との連携事業

JICA北海道と北海道教育庁及び札幌市教育委員会等との連携による教職員対象の『国際理解教育研修』を実施しました。帯広市教育委員会と連携し、『おびひろ市民学』を実施しました。

項目	参加人数	実施日
<札幌>		
札幌市教育センター専門研修「国際理解教育」	10名	2023/1/11
<帯広>		
帯広市教育委員会「おびひろ市民学」3年目（帯広市内全中学校によるセンター訪問）	1358名	2022/6/7～2022/10/20

● 小・中・高 国際協力体験プログラム

外国の生活や文化を知ることや国際理解を深めることや、国際協力の現場について知り、世界の現状や何ができるのか考えてもらうためのプログラムです。外国の方との交流、青年海外協力隊の体験談、参加型ワークショップなど、小・中・高校生向けに各プログラムを用意しています。

項目	参加人数	実施日
<札幌>		
中学生・高校生国際協力体験プログラム2022 「食品ロスに挑む！」	25名	2022/8/2
小学生向け国際協力体験プログラム「ニョニユムでつながるカンボジア」	13名	2022/8/10
<帯広・札幌>		
冬の高校生国際協力体験プログラム2022「国際協力へのステップ！カメルーン×カンボジアの教育の未来」	33名	2023/1/10

● 教師海外研修（代替国内研修）

2020～2022年度の教師海外研修は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により中止しております。2022年度については、教師海外研修の代替事業として、北海道内でのSDGsの達成や多文化共生社会の構築に取り組む自治体やNGO、外国にルーツをもつ児童や、道内に住む外国人を支援する方々へのインタビューの他、平取町、浦河町へのフィールドワークを通して、各参加者がSDGsや多文化共生を題材として教材づくりを行い、実践する教師国内研修を実施しました。小学校教諭1名、中学校教諭3名、高校教諭3名の計7名の方が参加しました。

※2022年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、教師海外研修の代替研修となる教師国内研修を実施。

● JICA北海道におけるインターン（職場体験学習）受入実績

人数	大学/大学院（学部/研究室）	実施期間
<札幌>		
1名	札幌学院大学	2022/8/29～9/6
1名	札幌大学	2022/8/29～9/6
2名	北海道大学	2022/8/29～9/6
1名	北海学園大学	2022/8/29～9/6
1名	東海大学	2022/8/29～9/6
1名	慶應義塾大学	2023/2/6～22および3/6～10
<札幌>		
1名	国立大学法人北海道国立大学機構 帯広畜産大学	2022/8/18～8/31
1名	早稲田大学	2022/8/23～9/2

● エッセイコンテスト

中学生と高校生が国際協力について考えるきっかけづくりとして、開発途上国や国際協力をテーマにしたエッセイを募集し、全国規模でコンテストを実施しました。2021年度は北海道から次の方々・学校が入賞しました。

	賞	タイトル	学校名	
中学校の部	個人賞	文部科学大臣賞	世界の扉を開くかぎ	下川町立下川中学校
		国内機関長賞	相手を尊重するためには	更別村立更別中央中学校
		国内機関長賞	何か違っていても結局は同じ	石狩市立樽川中学校
	特別学校賞	石狩市立樽川中学校、更別村立更別中央中学校		
	学校賞	学校法人道愛学院道愛女子中学校		
高等学校の部	個人賞	国際協力特別賞	六年前あの一言で	海星学院高等学校
		国内機関長賞	世界に目を向けてみて	北海道立北海道大樹高等学校
		国内機関長賞	女性が生きやすい世界	市立札幌清田高等学校
		佳作	世界と共存する	北海道千歳高等学校
	特別学校賞	北海道千歳高等学校、市立札幌清田高等学校、学校法人札幌北斗学園札幌北斗高等学校、北海道立北海道大樹高等学校		
	学校賞	札幌市立札幌開成中等教育学校、学校法人望洋大谷学園北海道大谷室蘭高等学校		

セミナー・イベント等

道民の方々に開発途上国の問題や日本との関係等について理解を深めてもらえるよう、各種セミナー、イベント等を実施しました。また、地方自治体や大学、道内NGOの方々の国際協力に対するお手伝いを様々な形で実施しました。

- 市民向けイベント
開発途上国について道民の方々に関心を持っていただくことを目的としたイベントを開催しました。

イベント名	講演者	実施日	参加人数	主催 共催
<札幌>				
JICA海外協力隊が見たインドの暮らし写真展		4月4日～28日 (JICA 札幌センター) 5月9日～31日 (浦河町総合文化会館) 6月1日～17日 (浦河高等学校)	200名	主催
JICA北海道 SDGsブース出展 (レバンガ北海道、北海道コンサドーレ札幌試合会場にて)		5月7日、10月8日 、10月16日	237名	主催
JICA海外協力隊オンライントーク 道産子ボランティアが見てきた開発途上国 in道北	ムロマ 沙耶葉氏 (H26-3/マラウイ/コミュニティ開発) 中岡 萌氏 (2018-3/ウズベキスタン/青少年活動)	6月12日	37名	主催
多文化共生教育セミナー 「外国にルーツを持つ子どもの学びを支援する～教室で、地域で、私たちができること～」	小島祥美氏 (東京外国語大学 多言語多文化共生センター長)	7月10日	44名	主催
JICA海外協力隊が見たベトナムの暮らし写真展		7月22日～8月19日 (UR花川中央団地) 8月26日～9月16日 (JICA 札幌センター)	100名	主催
世界ふれあいミニひろば2022～SDGsでつながる世界の『WA』！～		9月3日	224名	主催
北海道渡島総合振興局動物愛護パネル展 JICA協力隊に聴く世界の動物たち		9月5日～9日 (渡島合同庁舎) 9月20日～27日 (七飯町文化センター)	130名	共催
「はこだて防災マルシェ2022」内 JICAブース出展 『「やさしい日本語」を使って留学生と一緒に考えよう、災害のこと』		9月25日	40名	
「2022年 JICA 海外協力隊道南まつり」内企画 JICA海外協力隊パネル展		10月25日	70名	
外国人材受入オンラインセミナー 「道南企業から学ぶ外国人との共生」第1回	今野悟氏 (札幌出入国管理局函館出張所 所長) 水沢宣史氏 (社会福祉法人 函館厚生院特別養護老人ホーム百楽園 園長)	10月25日	35名	共催
「みんなで防災」『やさしい日本語』×防災	中川昌時氏 (石狩市防災まちづくり協会 事務局長)	10月29日	21名	共催
JICA海外協力隊パネル展「南米ペルーの自然と動物から地球の未来を考える」	大河原沙織氏 (2018年4次隊/ペルー/環境教育)	10月29日～11月20日 (旭川市中央図書館)	27名	主催
外国人材受入オンラインセミナー 「道南企業から学ぶ外国人との共生」第2回	北河実則氏 (外国人技能実習機構 (OTIT) 札幌事務所 所長) 松見紀行氏 (函館日産自動車株式会社 店舗支援本部 総務・経理グループ 部長)	11月7日	39名	主催
北海道国際協力フェスタ2022		12月10日～12月11日	1079名 (内、150名がJICA ブースに来場)	共催
JICA海外協力隊パネル展「道北出身・在住の青年海外協力隊員が会った 世界のこぼん」	山中卓也氏 (ウズベキスタン0V) 大井和裕氏 (カンボジア0V) 上野晃生氏 (グアテマラ0V) 宮下薫氏 (パラグアイ0V) 松原有希氏 (ブラジル0V) ムロマ沙耶葉氏 (マラウイ0V) 森長大輔氏 (モルディブ0V)	2月4日～2月5日 (旭川市神楽公民館)	56名	主催
市民セミナー (公開講座) ザンビアを語る!!	横山敬子氏 (元JICAシニアボランティア) 金川弘司氏 (元JICA専門家、北海道大学名誉教授) 奥村正裕氏 (元青年海外協力隊員、北海道大学獣医学部教授)	3月4日	34名	共催
多文化共生教育セミナー 「北海道で もっと！つながろう！外国につながる子どもサポーターの集い」	森田靖史氏 (北海道教育庁学校教育局 義務教育課 課長補佐) 谷光氏 (札幌こども日本語クラブ) 上野愛里氏 (横浜市日本語支援拠点施設「ひまわり」指導員) 他 外国につながる現役高校生2名	3月11日	33名	主催
SDGs×北海道セミナー2023	城戸 大樹氏 (元JICA海外協力隊員、ガイア動物病院 獣医師) 高野 悠己氏 (元JICA海外協力隊員、東川日本語学校・学校推進室マネージャー)	2月8日	100名	共催

オンライン日本語教室TA（学習支援者）向けセミナー 振り返りの会		1月31日	12名	主催
JICA海外協力隊展示2023 in 函館「世界も日本も元気にする 道南ボランティア写真展」		2月19日	120名	主催
オンライン日本語教室 受講者TA（学習支援者）交流会 『たくさん はなそう！ 交流会』		2月19日	21名	主催
オンライン日本語教室TA（学習支援者）向けセミナー 『日本語を学ぶ外国人への支援を考える会』	平田未季氏 （北海道大学 高等教育推進機構国際教育研究部 准教授） 三浦富貴子氏、萬美千代氏、加藤花苗氏 （オンライン日本語教室TA参加者）	3月13日	6名	主催
<帯広>				
技能実習生向け来日オリエンテーション （ベトナム人技能実習生）	釧路市総合政策部市民協働推進課/JICA釧路デスク	4月12日	26名	共催
技能実習生向け来日オリエンテーション （ベトナム人技能実習生）	釧路市総合政策部市民協働推進課/JICA釧路デスク	4月28日	23名	共催
外国人材向け来日オリエンテーション （フィリピン人特定技能）	釧路市総合政策部市民協働推進課/JICA釧路デスク	5月25日	11名	共催
技能実習生向け来日オリエンテーション （ベトナム人技能実習生）	釧路市総合政策部市民協働推進課/JICA釧路デスク	5月25日	4名	共催
技能実習生向け来日オリエンテーション （インドネシア人技能実習生）	釧路市総合政策部市民協働推進課/JICA釧路デスク	6月6日	15名	共催
技能実習生向け来日オリエンテーション （ベトナム人技能実習生）	釧路市総合政策部市民協働推進課/JICA釧路デスク	6月6日	28名	共催
世界の話を聞いてみよう！	石井 優子氏（ニジェール・エジプトOV）	6月11日～12日	15名	主催
JICAfe2.0イベント「JICAfe2.0 in くしろ」	大畑 紗弥和氏（ベナンOV） 千葉 友行氏（マラウイ・ウガンダOV） 千葉 美果氏（マラウイOV）	6月19日	92名	主催
JICAfe2.0 リレー型オンラインサロン第1弾中標津町	レ ティルエン氏（中標津町 地域おこし協力隊） 宮長 寛大氏（ブラジル・グアテマラOV）	6月24日	30名	主催
道東OV井戸端会議オンライン	中村 真也氏（ディスティネーション十勝）	6月29日	20名	主催
世界のともだち2022	五十嵐 龍夫氏（ハラクアイOV） チャム 祐子氏（セネガルOV） 領元 麻帆氏（パラグアイOV）	7月3日	800名	共催
JICAfe2.0 リレー型オンラインサロン第2弾別海町	高橋 英明氏（別海町 地域おこし協力隊） 田畑 直樹氏（ケニアOV）	7月8日	15名	主催
技能実習生向け来日オリエンテーション （インドネシア人技能実習生）	釧路市総合政策部市民協働推進課/JICA釧路デスク	7月12日	14名	共催
技能実習生向け来日オリエンテーション （ベトナム人技能実習生）	釧路市総合政策部市民協働推進課/JICA釧路デスク	7月12日	33名	共催
JICAfe2.0 リレー型オンラインサロン第3弾標津町	鈴木 祐二氏（タンザニアOV）	7月29日	15名	主催
「JICAがたがた釧路と世界の湿地にダイブ!?国際協力の世 界に沼ってみたい?JICA研修員体験ツアー」	照井滋晴氏 （NPO法人環境把握推進ネットワーク-PEG 代表） 深津恵太氏（マスターガイド）	7月31日	8名	主催
JICAfe2.0 リレー型オンラインサロン第4弾標茶町	千葉 友行氏（マラウイ・ウガンダOV） 小濱 真人氏（元標茶町 地域おこし協力隊）	8月26日	19名	主催
JICAfe2.0 リレー型オンラインサロン第5弾白糠町	井上 政史氏（スリランカOV）	9月16日	13名	主催
釧路市「やさしい日本語セミナー」 （市民・市職員向け）	式部 絢子氏 （北海道大学高等教育推進機構国際教育研究部） 工藤 健人氏 （札幌出入国在留管理局釧路港出張所）	10月2日～10月3日	35名	共催
道の駅ピア21しほろ キルギス写真・民族衣装展		10月13日～17日	300名	主催
JICAfe2.0 リレー型オンラインサロン第6弾釧路市	アーネスト モク氏（釧路市地域おこし協力隊） 大川 彩果氏（釧路市地域おこし協力隊）	10月28日	25名	主催
JICAfe2.0イベント「JICAfe2.0 in なかしべつ」	宮長 寛大氏（ブラジル・グアテマラOV）	11月3日	122名	主催
釧路国際交流の会主催「冬迎祭」	釧路国際交流の会	11月6日	150名	共催
技能実習生向け来日オリエンテーション （タイ人技能実習生）	釧路市総合政策部市民協働推進課/JICA釧路デスク	12月9日	11名	共催
町内在住ベトナム人技能実習生との地域交流会	釧路市 鳥取八丁目町内会	12月18日	30名	共催
技能実習生向け来日オリエンテーション （インドネシア人技能実習生）	釧路市総合政策部市民協働推進課/JICA釧路デスク	1月26日	3名	共催
技能実習生向け来日オリエンテーション （ベトナム人技能実習生）	釧路市総合政策部市民協働推進課/JICA釧路デスク	1月26日	9名	共催
JICA海外協力隊パネル展@第48回なかしべつ冬まつり	宮長 寛大氏（ブラジル・グアテマラOV）	2月4日～2月5日	266名	主催

国際フェスタinとかち2023	大林 さおり氏 (パラグアイOV) 大林 敏朗氏 (フィリピンOV) 鈴木 恵麻氏 (エクアドルOV) 土井 誠人氏 (ホンジュラスOV) 間地 伸吾氏 (コスタリカOV) 瀬元 麻帆氏 (パラグアイOV)	2月11日	850名	主催
JICAに行こう!	斉藤 彦馬氏 (ネイチャーガイド)	3月25日～26日	250名	主催
アフリカお話し	曾根 裕恵氏 (ウガンダ・コミュニティ開発)	3月28日～29日	40名	主催

● 民間連携

JICA北海道では、道内の民間企業（主に中小企業）の開発途上国へのビジネス展開を支援しています。海外展開に関心を持っている民間企業向けに、他の支援機関と連携し、各種セミナーを開催（主催、共催）しました。

イベント名	実施日	参加人数
<札幌>		
外交関係樹立30周年記念 ウズベキスタン経済セミナー	7月20日	48名
中欧・東欧ビジネスセミナー--ヨーロッパ市場への足掛かりとなる新興諸国の現在-	3月9日	6名

● JICA/大学連携講座

JICAでは連携協定を結んでいる北海道大学及び帯広畜産大学と、国際協力に関する連携講座を実施しました。

大学名	講座名	実施日	受講人数
<札幌>			
北海道大学	国際協力論	4月14日～7月28日	80名
<帯広>			
国立大学法人北海道国立大学機構 帯広畜産大学	国際農畜産開発論	4月21日～6月16日	80名

● 地域の方々との交流事業

JICA研修員受け入れ事業で来日している研修員や元JICA海外協力隊（青年海外協力隊など）と地域の市民との交流の場を提供することにより、市民が日本と開発途上国との関わりを知り、将来的に国際協力に参加する等、地球規模の課題を理解するきっかけをつくることを目的とした地域交流事業を実施しています。

イベント名	概要	実施日	参加人数
<札幌>			
石狩ワールドフェスティバル	市民と外国人の身近な国際交流の場を提供し、国際理解を深めるイベント	11月13日	320名
<帯広>			
JICA研修員と遊ぼう!	言語交流研究所ヒッポファミリークラブとの交流会	11月19日	25名
市民の会国際交流パーティー	帯広市国際親善交流市民の会による、地域に住む外国人との交流イベント	12月3日	51名
おひひろ氷まつり	氷まつりに参加し、市民と夜の花火や氷像を楽しむ	1月27日	27名
忠類ナウマン全道そり大会	各グループが自主制作のそりを持参し、早さや美しさを競うイベント	2月19日	27名
JICA研修員と遊ぼう!	言語交流研究所ヒッポファミリークラブとの交流会	2月25日	28名

● 後援イベント

イベント名	実施日
<札幌>	
令和4年度 中・高校生ボランティア活動助成事業	応募受付時期 5月30日～6月30日 助成決定時期7月中旬
第52回北海道作業療法学会学術大会	6月11日～12日
瀬谷ルミ子氏 講演会「争いを防ぐために、私たちにできること」	9月22日
2022年度 SDGs Quest みらい甲子園 北海道大会	10月1日～3月31日
JICA海外協力隊道南まつり	10月23日
第32回海外女子教育・国際理解教育研究協議会北海道ブロック大会 第43回北海道国際理解教育研究大会釧路大会 第39回釧路地方国際理解教育研究大会	10月28日
第32回「私たちの身のまわりの環境地図作品展」	10月29日～30日 表彰式10月30日
移民女性の妊娠・出産・留学生、技能実習生らの受け入れ担当者のためのオンラインセミナー	11月2日
令和4年度高校生世界（アジア・北欧）の架け橋交流事業	11月3日、11月23日 1月16日、1月28日

産官学民の連携による外国人技能実習生との異文化交流会	11月23日
令和4年度北海道国際理解教育研究協議会 冬の研修会（帰国教員報告会及び派遣教員研修会）	1月6日
<帯広>	
Pre Hub Tokachi Festival 2022 - Africa Day!	8月14日
紋別市講演「地域における外国人材の必要性と、今後の取組」	7月15日

● 協力イベント

イベント名	実施日
<札幌>	
多文化共生に係る課題解決地域連携モデル事業「きたらひろがるこうりゅうのわ～あそんで、おどって、たのしもう～」	2月11日
<帯広>	
アフリカ布の工房OdiOdi POP UO STORE in 十勝	7月16日～22日
アフリカ布の工房 Remake and Order made	11月10日～11月26日

● 大学・NGO、地方自治体等の海外研修支援

団体名	訪問・活動国	実施期間
<札幌>		
公社 北海道国際交流・協力総合センター	マレーシア・インドネシア（オンライン）	11月3日、11月23日、 1月16日、1月28日

● 国際協力パネル展・民族衣装・パネル貸し出し

イベント名	場所	実施日
<札幌>		
民族衣装10点	北海道函館中部高等学校	5月19日～5月27日
道産子ボランティアが見た開発途上国	北海道庁	5月23日～5月24日
JICA海外協力隊展示2022@函館 ～世界に貢献 道南ボランティア写真展～	函館市地域交流まちづくりセンター 渡島合同庁舎	6月1日～6月21日 6月8日～6月24日
民族衣装8点	JICA北海道センター（帯広）	6月22日～7月3日
民族衣装10点	札幌清田高等学校	7月5日～7月12日
SDGsパネル21枚 民族衣装10点	釧路湖陵高等学校	7月9日～7月10日
民族衣装10点	稚内養護学校	7月12日～7月15日
SDGsパネル12枚	札幌市スポーツ協会 札幌国際交流館	7月19日～7月31日
民族衣装10点	山鼻かしわ児童会館	7月19日～7月25日
民族衣装10点	山鼻かしわ児童会館	7月26日～8月2日
民族衣装10点	酪農学園大学ボランティアクラブ	8月14日
展示パネル4点	札幌国際交流館	8月17日～8月31日
展示パネル9点	コープさっぽろ組合員活動委員	8月27日
民族衣装9点	厚真町教育委員会	9月1日～9月5日
民族衣装4点	北広島市立西部中学校	9月20日～9月30日
展示パネル7点	札幌市スポーツ協会 札幌国際交流館	9月20日～10月2日
民族衣装10点	札幌市立東苗穂小学校	10月3日～25日
展示パネル4点	札幌市スポーツ協会 札幌国際交流館	10月4日～31日

展示パネル10点	青年海外協力隊道南08会	10月19日～23日
民族衣装7点	安平町国際文化交流センター	10月22日～11月3日
民族衣装10点	真駒内養護学校	10月24日～31日
民族衣装13点	石狩市立花川小学校	10月24日～29日
民族衣装10点	北海道真駒内養護学校	10月24日～10月31日
民族衣装10点	札幌市東苗穂小学校	11月2日～11月14日
スポーツに関する展示	札幌市スポーツ協会 札幌国際交流館	11月14日～12月4日
民族衣装10点	北海道拓北養護学校	11月15日～11月18日
民族衣装3点	DanceForRefugeeMeheba	11月27日～11月28日
民族衣装13点	北海道稚内養護学校	12月1日～12月6日
展示パネル2点	北海道青年海外協力隊 北海道08会	12月11日
民族衣装14点	株式会社オーティス	1月15日
民族衣装12点	キリスト教北光学園 北光幼稚園	1月23日～1月30日
民族衣装11点	協力隊08	1月27日～2月3日
民族衣装10点	北海道手稲養護学校	2月6日～2月17日
民族衣装20点	JICA帯広センター	2月6日～2月15日
民族衣装4点	札幌市立西野第二小学校	2月27日～3月10日
民族衣装8点	協力隊08	3月6日
写真とクイズ(12セット)	協力隊08	3月7日～3月21日
民族衣装1点	恵庭市立和光小学校	3月9日～3月13日
展示パネル4点	当別町立とうべつ学園	3月9日～3月27日
民族衣装2点	公益財団法人 札幌国際プラザ	3月20日～3月29日
浴衣(18着)	URコミュニティ (花川中央団地)	6月3日～8月20日
<帯広>		
JICA海外協力隊パネル展	岡書イーストモール店	11月1日～12月12日
世界の民族衣装展	ドトールコーヒーとかちプラザ店	11月19日～11月30日
Fureru photo in中札内	道の駅 なかさつない	11月20日～11月26日
世界を知ろう！パネル展	道の駅 おとふけ	12月13日～12月20日
感じるアフリカ展	TSUTAYA木野店	2月17日～2月27日
感じるアフリカ展	ドトールコーヒーとかちプラザ店	2月28日～3月8日
写真パネル 11点	道の駅 ピア21しほろ	12月7日～2月11日
世界のこどもアート 10点	北海道十勝総合振興局	12月12日～12月26日

SDGsパズル、識字ボックス 3点、SDGsパネル 20点	上士幌町教育委員会	2月20日～2月28日
JICA海外協力隊活動写真パネル展	道立ゆめの森公園	2月20日～2月28日

ボランティア事業

● 派遣実績

○ 2022年度 新規派遣

形態	派遣国数	人数
青年海外協力隊（海外協力隊含む）	13	17
シニア海外協力隊	1	1
日系社会青年海外協力隊 （日系社会海外協力隊含む）	1	2
日系社会シニア海外協力隊	0	0
合計	15	20

※表敬訪問先が北海道の協力隊隊員
（他都府県出身者含む）

● 帰国報告会・ボランティアセミナー

○ 帰国報告会

場所	春募集		秋募集	
	JICA海外協力隊		青年海外協力隊	
	回数	人数	回数	人数
	0	0	0	0
小計	0	0	0	0

※新型コロナウイルス感染症による影響で、帰国報告会は、青年海外協力隊事務局主催による、オンラインでの帰国報告会に代替され、JICA北海道での帰国報告会は実施実績なし。

○ ボランティアセミナー ※（ ）内は同開催場所での実施回数

時期	回数	人数	開催会場
春募集	4	220	酪農学園大学、八紘学園農業専門学校、拓殖大学北海道短期大学、JICA北海道
秋募集	10	392	藤女子大学、酪農学園大学、東海大学札幌キャンパス、北海道教育大学函館校、北海道医療大学、IAYインターナショナルアカデミー、東京農業大学オホーツクキャンパス、北海道大学、名寄市立大学、北海道教育大学釧路校

● 応募状況（北海道全域）

	春募集		秋募集	
	一般案件	シニア案件	一般案件	シニア案件
応募者数	59	4	31	2
合格者数	28	2	19	1